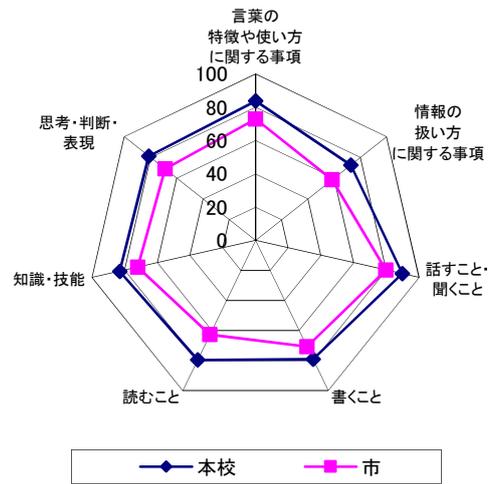


# 宇都宮市立今泉小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	言葉の特徴や使い方に関する事項	83.8	73.0	75.5
	情報の扱い方に関する事項	72.8	58.5	59.0
	話すこと・聞くこと	89.8	79.8	75.9
	書くこと	79.1	70.7	71.7
	読むこと	79.6	62.8	62.5
観点別	知識・技能	83.0	72.0	74.4
	思考・判断・表現	81.3	69.0	68.5

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



## ★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
言葉の特徴や使い方に関する事項	<p>平均正答率は、市の平均と比べ高い。</p> <p>○漢字の読みの本校の平均正答率は9割を超えている。書きの平均正答率についても、設問ごとに若干のばらつきが見られるものの高い正答率となっている。</p> <p>○●言葉の学習に関するほとんどの項目で、市の平均正答率を10ポイント以上上回っている。尊敬語の使い方の設問では、市の平均正答率も低いものの、本校の平均正答率も5割を下回っている。習熟には課題が見られる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字の学習は繰り返し練習を行うとともに、熟語の意味調べや学習した漢字を使った短文づくりをするなど、実際に活用する機会を増やすことで知識の定着を目指したい。</li> <li>生活の中でも場に応じた言葉遣いを意識させるなど、敬語に関する継続的な指導に努めたい。</li> </ul>
情報の扱い方に関する事項	<p>平均正答率は、市の平均と比べ高い。</p> <p>○資料を読み取り、報告文を書く設問では、市の平均正答率に比べて14ポイント上回っており、書く力が全体的に身に付いている傾向が見られる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えとなる根拠や事例をなど挙げ、読み手を納得させるような文章構成を考え、書く活動を取り入れていきたい。</li> <li>学習の振り返りを書くなどの自分の考えを適切な言葉を選び構成して作文する時間を日常的に授業に設定し、国語に限らず横断的に指導していきたい。</li> </ul>
話すこと・聞くこと	<p>平均正答率は、市の平均と比べ高い。</p> <p>○話し合いの内容を聞き取り、その工夫を捉える設問の正答率は、市の正答率と比べ7～12ポイント上回っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>円滑な話し合い活動のための留意点を学ぶだけでなく、実際の話し合い活動において話し手と司会者の両方の役割を経験する機会を設けることで、実感を伴って理解できるようにしていきたい。</li> </ul>
書くこと	<p>平均正答率は、市の平均と比べ高い。</p> <p>○目的に応じて報告する文章を書く設問の正答率は、市の正答率と比べ、10ポイント以上上回っている。</p> <p>○意見を読んで自分の考えを書く設問の正答率は、市の正答率と比べ、3から10ポイント上回っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国語の書くことの学習だけでなく、行事の振り返り作文や他教科のまとめ新聞などの機会を生かし、段落の役割について理解できるように指導していきたい。</li> <li>ある意見に対する自分の考えを書く練習をすることで、自分の意見と理由を明確に書くスキルを身に付けられるように指導していきたい。また、文字数を意識して文章を書く機会を設けていきたい。</li> </ul>
読むこと	<p>平均正答率は、市の平均と比べ非常に高い。</p> <p>○物語の描写を基にした登場人物の心情や、表現の効果を捉える設問の正答率は、市の正答率と比べて19ポイント以上上回っている。</p> <p>○説明文の内容や構成、論の進め方を捉える設問の正答率は、市の正答率と比べ、14ポイント以上上回っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>読書活動を推進・充実させることで、読む楽しさを味わわせると共に、文章読解力を身に付けられるようにしたい。</li> <li>登場人物の相互関係や心情などの描写を基に捉えたり、文章を読んで理解したことから自分の考えをまとめたりする活動を丁寧に行うことで、読みを深められるようにしていきたい。</li> <li>複数の資料を読み、必要に応じて関係付けながら読む機会を生かし、自分の考えを深められるよう指導していきたい。</li> </ul>